

8月度座談会

四条金吾殿御返事  
(八風抄)

\* \* 地区

# 背景と大意

- 建治2年 55才 於:身延
- 対告衆:四条金吾
- 金吾は主君に疎まれ苦境に
- 状況は悪化し、領地替えの命
- 「八風」に侵されないのが賢人
- 諸天善神は賢人を守る
- 師弟一致の祈りが勝利の要諦

# 八風

人身を扇動する**八の風**

利・衰・毀・誉  
称・譏・苦・楽



侵されぬ  
を賢人と

仏道を妨げる**八風**に動じない**境涯**  
揺ぎなき自身を確立が**幸福**の道

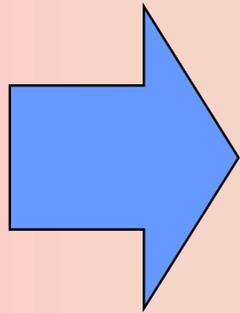
# 四順・四違



毀譽褒貶・利害損得  
目先の利害に惑わされるな

# 諸天の守護

諸天は賢人を守護する  
道理から外れては守護はない



佐渡流罪中は江間氏が金吾を守った

道理の上から、仏法の上から  
主君に仕え、正しく生きよう

# 指導より

- 今いる**使命の場所**で何としても**勝て**
- **四順**は一時的、**相対的な幸福**
- 八風に侵されず、**絶対的幸福**を追求
- 八風に動じない**自身を築く**には「**法**」  
と「**師匠**」の存在が不可欠

**師弟不二**で**広布の道**に生き  
人生勝利の**賢人**となれ